

注3

大学番号：私145

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

杏林大学 保健学部 作業療法学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 カチョウ 課長 イガラシ 五十嵐 カスオ 一夫

電話番号 042-691-8713

（夜間） 042-691-0011

F A X 042-691-1094

e-mail igarashi@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 杏 林 学 園

## (2) 大学名

杏 林 大 学

## (3) 大学の位置

〒192-8508 (181-8611)  
東京都八王子市宮下町476 (東京都三鷹市新川6丁目20番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( マツダ ヒロハル ) 松 田 博 青 (昭和63年2月)		
学 長	(アトミ ユタカ) 跡 見 裕 (平成22年4月)		
学 部 長	( オオタキ ジュンイチ ) 大 瀧 純 一 (平成18年4月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健学部 作業療法学科 学士(理学療法学)	4年	40人	年次 人 -	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備考
	A	入学定員	(-) 40人	(-) 40人	(-) 40人		
	志願者数	(-) 250	(-) 250	(-) 250	(-) 250		
	受験者数	(-) 224	(-) 224	(-) 224	(-) 224		
	合格者数	(-) 136	(-) 136	(-) 136	(-) 136		
B	入学者数	(-) 46	(-) 46	(-) 46	(-) 46		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.15	(-) 1.15	(-) 1.15	(-) 1.15		

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次	[—] —	[—] —	[—] —	[—] 46	
2年次	[—] —	[—] —	[—] —	[—] —	
3年次	[—] —	[—] —	[—] —	[—] —	
4年次	[—] —	[—] —	[—] —	[—] —	
計	[—] —	[—] —	[—] —	[—] —	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
  - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
 1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
  - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・ 「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校 舎 敷 地	136,727.16㎡	— ㎡	— ㎡	136,727.16㎡			
	運 動 場 用 地	14,570㎡	— ㎡	— ㎡	14,570㎡			
	小 計	151,297.16㎡	— ㎡	— ㎡	151,297.16㎡			
	そ の 他	34,950.65㎡	— ㎡	— ㎡	34,950.65㎡			
	合 計	186,247.81㎡	— ㎡	— ㎡	186,247.81㎡			
(2) 校 舎	専 用	74,221.81㎡	— ㎡	— ㎡	74,221.81㎡	大学全体		
	(74,221.81㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	(74,221.81㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	9 2 室	演 習 室 1 0 5 室 - 1 - 2 - 1 室	実 験 実 習 室 3 7 室	情 報 処 理 学 習 施 設 9 室 (補助職員 人)	語 学 学 習 施 設 4 室 (補助職員 人)	【演習室】共用部分 を大学院・学部でカ ウントしていたた め、減少(23)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			【例】 平成23年4月 専任教員2名を新規 採用のため(23)		
	保健学部 作業療法学科		9 7 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	保健学部のみ 【図書】 経年劣化に伴う廃棄、及 び新規購入のため増加。 外国書は、経年劣化に伴 う減少。(22) 経年劣化に伴う減少。外 国書は新規購入のため増 加(23) 【学術雑誌】 経年劣化に伴う減少。外 国書は、新規購入のため 増加。(22) 経年劣化に伴う減少。 (23) 【電子ジャーナル】 契約終了に伴う減少 (22) 学術雑誌の電子ジャーナ ルへの移行に伴う増加 (23) 【視聴覚資料】 経年劣化に伴う廃棄によ る減少(22) 新規購入に伴う増加 (23) 【機械・器具】 記載漏れを訂正(23) 【標本】 記載漏れを訂正(23)
		保健学部	95,516 [30,464] 92,901 [28,526] <del>95,998 [28,362]</del> (95,516 [30,464])	1,609 [286] 284 [48] <del>1,101 [402]</del> 1,609 [286]	22 [22] 102 [102] <del>21 [21]</del> ( 22 [22] )	2,958 2,931 <del>2,826</del> 2,958	0 3,405 0 ( 0 )	
	計	95,516 [30,464] 92,901 [28,526] <del>95,998 [28,362]</del> (95,516 [30,464])	1,609 [286] 284 [48] <del>1,101 [402]</del> 1,609 [286]	22 [22] 102 [102] <del>21 [21]</del> ( 22 [22] )	2,958 2,931 <del>2,826</del> 2,958	0 3,405 0 ( 0 )	0 269 0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	5,342.13㎡		681席		439,225冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	12,894.53㎡		野球場1面、テニスコート8面、弓道場1、アーチェリー練習場1					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	804千円	804千円	図書購入費	27,880千円	29,191千円	34,468千円
	共同研究費等	9,000千円	9,000千円	設備購入費	154,305千円	157,391千円	167,024千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,904千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学部									
医学科	6	117	—	603	学士(医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
保健学部									
臨床検査技術学科	4	80	2年次6 3年次4	346	学士(保健衛生学)	1.21	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地	
健康福祉学科	4	40	2年次6 3年次4	186	学士(保健衛生学)	1.28	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地	
看護学科	4	100	2年次2 3年次8	402	学士(看護学)	1.11	H6年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
臨床工学科	4	40	—	160	学士(臨床工学)	1.38	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
救急救命学科	4	40	3年次5	170	学士(救急救命学)	1.24	H19年度	東京都八王子市宮下町476番地	
理学療法学科	4	40	—	120	学士(理学療法学)	1.19	H21年度	東京都八王子市宮下町476番地	
作業療法学科	4	40	—	40	学士(作業療法学)	1.15	H23年度	東京都八王子市宮下町476番地	
総合政策学部									
総合政策学科	4	170	3年次10	710	学士(総合政策学)	1.15	S59年度	東京都八王子市宮下町476番地	
企業経営学科	4	100	3年次5	430	学士(企業経営学)	1.17	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
外国語学部									
英語学科	4	120	3年次5	465	学士(文学)	1.16	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
中国語・日本語学科	4	—	3年次13	—	学士(文学)	0.82	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	平成23年より学生募集停止
中国語学科	4	30	3年次15	30	学士(中国語コミュニケーション学)	1.20	H23年度	東京都八王子市宮下町476番地	
応用コミュニケーション学科	4	—	3年次2	—	学士(文学)	1.10	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	平成23年より学生募集停止
観光交流文化学科	4	70	3年次3	140	学士(観光交流文化学)	1.26	H22年度	東京都八王子市宮下町476番地	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<保健学部 作業療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>運営委員会は、毎月1回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員（教員）7名で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、自己点検・評価に関する事項、FDに関する事項、について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①授業方法についての研究会（外部講師による講演会等）</p> <p>②授業評価アンケート</p> <p>③教員相互の授業参観</p> <p>④教員評価</p> <p>b 実施方法</p> <p>①外部講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。</p> <p>②学生による授業評価アンケートを毎学期実施している。結果は教員へフィードバックし、ホームページにも掲載している。</p> <p>③授業評価アンケート結果の優良者を学科ごとに選定し、その教員の授業を全教員に見学するよう求め、見学後、授業改善策に関するレポートを提出させている。また、授業実施教員との討論会も実施している。</p> <p>④評価シート様式を作成し、その様式に基づき各教員が自己評価を行い、評価結果を提出させ、評価委員による面接を実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p>
---

- ①講演は、年に数回実施しており、非常勤講師も含めて、多数の教員が参加している。
- ②授業評価アンケートは、学期ごとに、原則として全授業で実施している。
- ③年1回、授業見学を実施している。多数の教員が授業見学及び討論会に参加している。
- ④年1回、全教員が自己評価を行い、評価委員の面接を受けている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々のQQA(生活の質)の維持・向上を支援するために必要な科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的としている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・年1回公表している。

b 公表方法

・杏林大学の現況(自己点検・自己評価のためのデータブック)を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成23年7月予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. 未定 )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。